生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	機能的近赤外光分光法と視線計測器を用いた大腸内視鏡検査読影中の脳活動に関する探索的研究		
1.研究の目的と方法	この研究は、大腸内視鏡のエキスパートと非エキスパートを対象に、大腸内視鏡検査の動画を見てポリープを探すときの脳活動を調べることを目的としています。機能的近赤外分光分析法（functional Near-Infrared Spectroscopy; 以下fNIRS）と視線計測機を使用して脳血流を測定することにより明らかにし、得られた知見を生かして大腸内視鏡検査の質の向上に役立てることを目的としています。		
2.研究期間	倫理委員会承認日～2027年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3.対象となる方等	今回の検査では、直接患者さんを対象とはしません。 「29-047(8663)：人工知能技術を用いた大腸内視鏡検査における病変検出・診断支援プログラムの開発」の研究に同意をしていただいた方で、東京慈恵会医科大学附属病院において2020年4月から2024年7月31日に実施された大腸内視鏡検査の内、病変が発見され内視鏡画面が録画された大腸内の動画をテストデータとして使用します。		
4.研究に利用する試料・情報について	(1)試料の種類	該当しません。	
	(2)試料の取得の方法	該当しません。	
	(3)情報の種類	大腸内視鏡検査動画の病変情報（局在（直腸、S状結腸、下行結腸、横行結腸、上行結腸、盲腸）、病変サイズ、肉眼形態、病理組織診断）	
	(4)情報の取得の方法	先行研究（「人工知能技術を用いた大腸内視鏡検査における病変検出・診断支援プログラムの開発」の研究）で取得されたデータを二次利用します。	
5.研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1)当施設の研究責任者または研究代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学　内視鏡医学講座
		氏名	炭山和毅
	(2)当施設の長	東京慈恵会医科大学　学長　松藤千弥	
	(3)当施設の試料・情報の管理責任者	東京慈恵会医科大学　内視鏡医学講座　伊藤守	
	(4)共同で研究を実施する	国立精神・神経医療研究センター　精神診療部　副部長　野田隆	

	施設とその責任者	政（機関の長:阿部康二） 東京理科大学　創域理工学部機械航空宇宙工学科　教授　竹村裕 （機関の長：石川正俊）
6.試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究で収集・取得された試料・情報は、患者さんのお名前やカルテ番号などの個人情報を削除し、新たに研究用の ID や番号をつけてから、5(4)に記載された研究責任者のもとに、以下の方法にて送付されます。 提供方法：USB にパスワード付きのデータを入れ、追跡可能な郵送方法で送付する、または、手渡しする、インターネットストレージ等 試料・情報の利用または提供予定開始日：2024 年 10 月頃～	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学　内視鏡医学講座 研究責任者：教授　炭山　和毅（すみやま　かずき） 窓口担当者：大学院生　伊藤　守（いとう　まもる） 電話番号：03-3433-1111（内線 2111） 対応時間：平日 09：00　～　16：00	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。